

おお大勝利

平成 30 年度山東サッカー一部報第 9 号 (7 月 13 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

痛恨 3年生最終戦を白星で飾れず

7月7日(土) Y2A 第7節の米沢工業戦が行われました。**今年、この前期最終節で3年生はすべて引退**。一昨年はユート、昨年はカンタが選手権まで残りましたが、今年はこのユートイズムの継承者はゼロ。残念ではありますが、各自の人生の選択なので、致し方ない。**継承は現2年生に委ねられた**こととなります。故障で状態の厳しい3年生もおりますが、**県総体の骨折で未だギブスをはめている山東祭実行委員長タカヒラ**を除き、最終試合に3年生は何とか合わせてきた。会場は相手のホーム米沢工業高校。

会場に着くと、ホーム側の(奥側の/北側の)ベンチが不自然に空いており、駐車場からすると手前側のベンチに米工が入っている。意表を突かれましたが、よくよく考えると、以前県総体で米工に負けたとき、山東はホーム側のベンチに入っていた(山東第64回卒ヨシタカの代)。そこらへんのジnkスというか、縁起を考えての米工の行動ではないか。やるな、S藤監督。

会場には、**清野総監督、工藤先輩、後藤報道局長のいつもの御三方**がいつも通りいらっしやる。そして、卒業したてのOB**ハレル、カンタ、ネイマール、ベジ**4名(山東第68回卒)も集まってくれた。最初、試合前にカンタ、ベジ、ネイマールがベンチを訪ねてくれて、「ネイマール、(春の遠征の時入るかもと言っていた)陸上部入った?」「いや、トライアスロン部に入りました」「まじか」、「ベジ、勉強してるのか?」「ボチボチです」という会話を繰り返しているとき、もう一人、ゴール裏からややゴツ目の男が近づいてくる。「え、もしかしてタツル?」と一瞬思いましたが、タツル(66回卒)は三つ下の後輩の応援に来るような人間ではない。よくよく間近に見るとハレル。「なんだハレルじゃないか」とちよつと安心しました。ハレルもタツルさんと見間違われるなんて、貫禄がついたということね。3年生の最終試合ということで、保護者も多数お集まり。アウェー感はまったくくない。

さて、試合が始まると、横パス、バックパスは通っても、縦パスが雑だし、前線も迫力不足なため、相手ゴールになかなか迫れない。いつも以上にGK、DFラインでのサイドチェンジから落ち着いて機をうかがうも、効果的というより、相手のプレッシャーにはまりボールを奪われる危険性の方を感じてしまう。どっちつかずの時間帯を経て、流れをつかんだのは米工。アウトサイドで起点を作り、SBがオーバーラップして数的優位を作り、楽にクロスボールを上げ始める。山東はマークをスライドさせればいいものの、その判断が遅れて、相手クロスに間に合わないことが多い。そんな風に押し込まれつつあった中盤、相手の早いタイミングでの裏へのダイレクトなボールに対して、素晴らしいスタートを切っていた米工の選手に裏を取られてしまい、山東左サイドをえぐられ、そこから結局失点。**最終節にもかかわらず失点し、嫌なムードが漂う**。一発で裏を取られたわけだが、山東のディフェンスライ

ン、最悪のことを考えた準備ができていなかった。そのまま、山東にとってあまり見せ場の無いまま、前半終了。

このままでは終われないぞ、とお互い声を掛け合って後半に臨む。後半、**3年キクチャン**を左サイドからトップの位置に上げ、変化させてみる。前半キクチャンも得意の仕掛けをみせていたが、センターリングをあげても中の選手との呼吸が合わなかったり、米工の選手に正しい角度をキープされドリブルをミスするシーンが目立った。後半は自由に動き、かき回してもらいたい。しかし、試合展開は好転せず、前半同様どっちつかず。そんな中、絶対やってはいけない追加点をまたしてもダイレクトなボールへの対応を誤る中から与えてしまう。山東のディフェンスラインの危機管理がなっていないのは認めつつ言うと、**米工の選手の裏への飛び出しのタイミングが素晴らしい（そして愚直に何度も何度も狙ってくる）**。いよいよ、本格的に山東苦しくなってきた。後半途中から、**オオツキさん（62回卒）以来の陵南の流れを継承した3年キムタクが、陵南の後輩1年ユッキーと代わって出場したり、故障で思うように快速を飛ばせなかった3年ヤマモトに代わって副主将の3年ミヤガワ**が入ったり、ノブをMFに上げるため左SBで3年カサコーが投入されるなど、3年生の力で何とか米工に追いつくとする山東。**ホタテ**が3失点目確実という相手とGKとの1対1の場面を、**メチャクチャ鋭い反応で防ぐ超ビッグプレー**をして、最後の最後踏ん張った！この流れで攻撃も行くとはばかり、後半の後半、流れの中で**CBの主将フトシ**が駆け上がり、相手ゴールに迫る。すると、誰が得点したか分かりませんが、センターリングに対して、中のゴチャゴチャから誰かが決めた！恐らくオウンゴールと思われるが、**山東の執念が相手のミスを誘ったと言っていい**得点。1-2だし、山東押せ押せ。「2点差は怖い」という昔から言われる命題、日本はこのたびのW-Cupで痛感させられたわけだが、こちらは山東が追いかける側。フトシはそのままポジションを上げて、相手ゴールに迫る。一度、惜しいシュートチャンスを得ましたが、決めきれず。米工が守りきる作戦で、後方に人数をかけているという事情もあり、山東の波状攻撃が続く。**ヨーティ**は、県総体羽黒戦のポスト直撃弾の再現とはばかりにミドルシュートを狙うも、再現ならず。**スタミナのあるノブが痙攣するほど、死力を尽くして山東が攻め立てましたが、相手ゴールは遠く**。結局、そのまま1-2のスコアで、山東、3年生最終戦を白星で飾れない痛恨の敗北を喫する。

敗戦に対する監督の責任を痛感しつつ、しかし保護者の前で、そして最後には選手一同の前で述べた感想は、「**負けはしたが、山東の魂を感じた清々しい戦いであった**」ということ。選手はとても頑張りました。**相手に及びませんでした**が、「やり切った」「やるだけやった」という印象が残る熱い戦いでした。その日の3年生のコメントからも、そのような印象を受けました。

この最終戦、**得点を渴望し続けた3年FWババ**や、**応援団長との掛け持ちながらホタテとポジション争いを繰り広げた3年GKカイチ**を出場させることができませんでした。不完全燃焼だったでしょう。しかし、公式戦後行われた米工さんとの練習試合で、**ババさんは盟友ミヤガワのセンターリングを豪快ヘッドで叩き込む得点を含む3得点**で、ハットトリック達成。「今野先生、俺を使うべきだったんじゃないですか」という重いが強烈に伝わってきました。**カイチも後輩に経験を積みせようと躊躇しつつも3本の練習試合にすべて出場し、最後のGKのプレーをいとおしんでおりました**。

3年生諸君お疲れ様。3年生の保護者の皆様、お疲れ様でした。フトシ船長の山東丸はこれにて航海終了となります。寂しくはありますが、致し方ありません。ニコラス船長に引継

ぎ、山東丸の航海は続きます。すぐ、新チーム初戦がやってきます。引き続き応援よろしく
お願いします。

7月14日(土) Y2A 第8節 長井高校戦 10:00~@米沢工業高校 G

7月16日(月) Y2A 第9節 山本学園戦 10:00~@白鷹町東陽の里 G

**当初の予定では、「東陽への移動は各自」でしたが、1,2年生保護者の総意により、バス移動すること
になりました。**一般会計はその分不足するでしょうから、特別会計の残金等で調整することになるかもし
れませんが(選手権県予選や県新人でどこまで勝つかによってどこまで一般会計項目中の「高体連大会経
費」がかかるか決まるので、不足するかどうかはこの段階では申し上げられません)。

3年生引退式 3年生の今後に幸あれ

7月9日(月)本校ゼミ2教室にて3年生の引退式が行われました。3年生12名は思い思いの言葉で自分の活動を締めくくりました。(以下、発表順 ⇒ **カイチ**はこの日体調不良のため早退 ⇒ 応援団長として野球応援に彼の意識は移っていると思われる)

パパ・・・フィジカルが弱かったため、人一倍フィジカルトレーニングを積んだという自信はある。Bチームのメンバーは、他の人と同じことをやっていると出られないから、自ら努力をしていてもらいたい。

ホタテ・・・勝敗の分かれ目は基本的なことが出来るかどうか。日頃の練習の質を高めてもらいたい。カイチとの競争があってレベルアップできた。BがAを脅かすなど、チーム内競争を高めてもらいたい。

キムタク・・・個性的な面々でサッカー部生活が楽しかった。遠征などキツイこともあるが辞めないで。終わってみれば楽しい思い出。キツイことを楽しむ気持ち。月山登山攻略法は、前半肺で、後半脚力で走ること。

ヤマモト・・・自分の長所をしっかり伸ばせばレベルの上の相手とも戦える。サッカー以外のところからの準備を怠らず、怪我をしないでサッカーを楽しんで欲しい。

ヨーティ・・・一つ誰にも負けない武器を持って。ミスを恐れず積極的にプレーを。積極的なプレーには意図があるから味方に伝わり、話し合いにもなる。それを促すチームの雰囲気を持つ。アップから盛り上げて。

カサコー・・・うまくいかなくとも、成長することを諦めないで、最後まで腐らずやってほしい。成長する喜びを追い求めよ。

レナ・・・マネージャーがいなかったこの学年にボランティア感覚で入部し、今やここにいる。辞めようと思ったこともあったが、ここまで来れた。最後まで笑って引退を迎えて欲しいので、支えあいを忘れずに。

キクちゃん・・・県総体から逆算する計画性、毎日行う基礎的なトレーニングへの高い意識、サッカーが出来ることを当たり前と思わずに感謝する気持ち、これらを忘れるな。

タカヒラ・・・(時折目頭を押さえながら)県総体も、昨日の最終戦も、出場できず本当に悔しかった。この1ヶ月辛かった。決して環境が良い訳ではない山東の方が中学時代よりも伸びた、結局どれだけやる気を持って取り組めるか。「サッカーは理不尽」を痛感しているが、無駄にはならないと思って試練を乗り越えたい。

ミヤガワ・・・眼の故障で一時マネージャーをやったが、選手が思う以上にマネには仕事がある。マネへの感謝を忘れずに。ピッチに立つ選手以外の部員の貢献、伸びが重要。ライバルをチーム内に作り、感謝の気持ちを持ち、伸び伸びプレーせよ。

フトシ・・・基礎的なトレーニングを意識高く行い身につけることでサッカーを楽しめるようになる。(利き足の)逆足でボールを扱えないことでサッカーを楽しめない選手も目立つ。指導者の指導を聞き入れ、年上とやってもビビらず胸を張ってプレーせよ。